

## デヴィット、コックスの傳記及作品

青 人



氏の畫運日に非なるも、美術に關しては、心中大いに期する處ありしかば、勉強をば曾て停めたるとはなかりき、幸にもダルウイチに家を構へ

ければ、實地に

田園の風趣に接して、人をして羨望に堪へざらしむる畫材を得るの便を得たりき。實に自然の美景に接して、神來の感興を直に畫題に上ぼせたるなりき。これと同時に地方的風景を單に其の儘に再現せしむることは得せざりき。風土記的の描法は氏が望む處にあらず。氏は巧に空氣を描きて、一日の中にも或は同季にも、好く色彩の空氣の調子を識別して描き別けるなり。

氏は又自然を師とする他に、膝をヴェラスクウツツ、ガスパー・ボージン、ルイスダエル及其他の大家に屈して教を受けぬ。かゝる諸大家に就て、研究しけるも、自己の流派を造出する困難は依然たるものなりし、然れ共自己の確信に依て、觀察したるも



のを表現するに、要用なる科學的の基礎を得たるは言ふまでもなし。氏が此の熱心なる時代にいかに位置を進めけるやは、一八一三年にウォーターカラー、ソサエター（今日はローヤルツサエター、オブ、ペンタース、イン、ウォーターカラーズ）の會員に選ばれたるを以てこれを證するに餘あるべし。蓋し此會は一

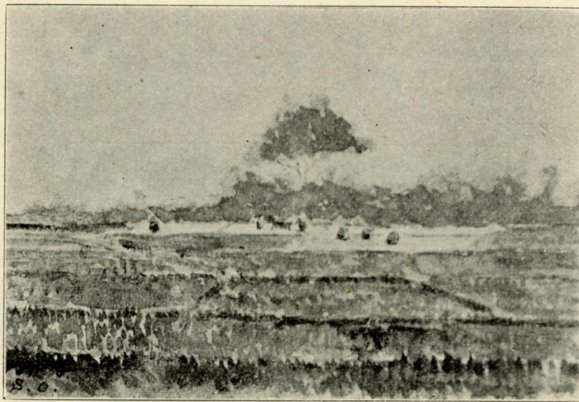
八〇五年の創設にかゝれり。氏は其の數年前に將に倒れんとして餘命を繋ぎつゝありしアツツシエーシヨン、オブ、アーティストツ、イン、ウォーターカラーズに入會しぬ。此の會は幾干もなくして不幸にも頽敗したるぬ。此の會は初めより困難ありて、最後の展覽會には作品物を會場の持主のために差押を受け、公賣の上、

場賃を仕拂ふに至りぬ。コ

ックスも不幸者中の一人なりき。しかしながらウォーターカラーソサエターの方は常に繁昌にて、出陳の繪畫にて收入も少なからざりき。氏は今三十にして、妻子を養ひつゝあり、而してその生活費としては、一ツに繪畫を賣るにありき。如上の場合なれば、ウォーターカラーソサエターの會員に選ばるゝと同時



に、これを利用して、フアンハム兵學校の畫學教師の位置を求めたりその位置は實に榮譽あるものにて、給料も卑しからず、人々には畏敬せられつゝありしかども、間もなくその軍隊的の職務の窮屈なるに飽き果つ。かゝる仕事は氏の如き自由を愛し家庭的の趣味を有する人の、



畫 氏 平 三 橋 大 雨 慕 墓

好くする處にあられば、十二ヶ月の終に辭表を呈出し、好んで以前の困難の位置に立歸りぬ。是にて獨立は得たれど生計の資乏しくフアンハムにて給料の幾分を貯蓄しけるも、今は残り少なくなりもて行き、ダルウイッチの家を疊み、門弟にも分るゝに至りぬ。折好くも此時ヒヤフォードの女學校にて畫學教師の入

用として、給料は年百ポンド、時間外には内弟子を取らんも可なりてふ條件附の廣告を見れば、殊に近郊には畫材の豊富なるものから、早速校主と約束を結びぬ。かくて一八一四年の末にヒヤフォードの町外れに風雅なる住家を設け。こゝには十三年間居住しぬ。學校外に内弟子を教ゆるに忙しかりしも、郊外の寫生にも時間を費すことを得たりき。同時にウオーターカラーソサエターにも規則正しく出品しければ、年々の倫敦の參觀人にも、美術界に此の人あるを認められつゝありき。

### 三浦の浪 (その一)

△△△

この間三浦半島の秋谷といふ處で、朝飯前のスケッチを始めたら、折からの盆休みとて、一杯機嫌の漁師共が黒山のやうに取巻いた。『何處を寫すんだらう』『前へ立つと叱られるぞ』と不相變の御饒舌。『三やおまんまだよ』と遙かにオツカーが子を呼ぶ聲もする。後ろに立つてゐるのだからどんな風體か知らないが、村相撲の大關とても思はれそうな聲の男が、『傍で見るとわかんれゝが離れると舟もある、家もある』といつたら、鹽辛聲の他の男が『寫真といふものはなりたけ細かく寫るのがいいんだ、繪はぞんざいに描いてうんゝなるほどと思はせるのがいいんだ』と。オヤ、おつな事をいふと振返つて見たら、髪の毛のぼう／＼とした色の眞黒な小作りの漁師であつた。